



魔女の家見つけた！

シロガネユキ

魔女の家見つけた！

「魔女の家見つけた！」 シロガネユキ

ちょっと内緒の話があるのですが、はい。決して他言は避けていただきたいのです。警察なんかに言われてしまうと、もっと犠牲者が増えてしまうからです……。

実は、ここだけ話、私の家の近所に魔女の家があるのです。その家の窓際には、様々な形のガラス瓶が置いてあるのです。ピンク色やブルーの物、虹色のもの、半透明なもの、透明なもの……とにかく色々な種類の美しいガラス瓶が沢山置いてあるのです。

「きっとこの家には間違いなく魔女が住んでいて、魔女はその瓶を使って不思議なクスリを作っているに違いないわ」

私はそう思って、先日、ついにその魔女の家を探索しに行く事にしました。

私は勇気を出して窓から顔を入れ、家の中を覗きこみました。そうしたら運悪く、魔女と目が合ってしまったのです。

魔女は真っ赤な目で私を睨み付けました。

「やっぱり魔女の家だったんだ！」 そう思った瞬間です、頭の中が真っ白になりました。

気が付くと私はガラス瓶の中にいました。見ると、とても変な形をしている瓶です。それは螺旋状のベースをしたガラス瓶でした。透明度が低く、ヘドロのような色合いで、その上に真っ赤な目玉や、蛇や、カエルや、色々な気持ちの悪い絵柄が付いていました。

魔女は私に向かって言いました。

「ここにある瓶の中には、瓶の形にあった性格の持ち主を閉じ込めてあるのさ。お前は人一倍性格がひん曲がっているから、こんな瓶になっちゃったんだよ」

魔女はニヤリと笑うと、私の入ったガラス瓶を物置にしまいました。

今、瓶の中です。外見は汚いですが、なかなか住み心地がいいです。ちゃんとパソコンもありますし、ADSLも付いてます。食事も中々です。引きこもるには最高の条件です。

先日、魔女が様子を見に来たので、

「そろそろバストイレ別の瓶に引っ越したいのですが……」と、交渉してみた所、 「一生そこに住んでやがれ！」と憤慨されました。

……次に様子を見にきたらフローリングも追加してみます。

